



伯水楼 白水洋幸さん



たくさんの出会いに恵まれた40年

名物マスターの
白水さん。



長崎大学の東門を出て10分もかからない場所に、私の店「伯水楼」があります。開店は1982年。当初から、長崎大学の皆さんにはご最真にさせていただいています。でも実はここは、近所に大学があることを知らずに決めた物件でした。第一候補だった物件が埋まってしまったため、現在の店舗に入ることにしました。蓋を開けてみると、たくさんの学生さんや先生が食べに来てくれる店になりました。

人気メニューは肉チャーハンです。オープン後しばらくして、四川丼をメニューに入れてみたら、これも大当たりでした。うちの店は盛りの良さが有名ですが、味も他

には負けていませんよ。ちなみに大盛りになったのは、私が細かい計算が苦手だからです。材料が少し残るくらいだったら入れてしまえ！これを続けているうちに、いつの間にか大盛りになりました。アルバイトしてくれた長崎大学の学生さんは、40年で延べ100人にはなるでしょう。多い時期は15人くらいが交代で働いていました。コロナ禍以降は出前がなくなったので、今は2、3人です。出前といえば、以前は長崎大学の学食は17時で閉まっていたと思います。水産学部の学生さんが会合をする時に、学食まで出前したこともありました。

バイト生の中には個性的な学生さんもいて、店にトイレ用のスリッパを履いてきたので、その日はきつく叱りました。皆さんのことを、私は自分の子どものように思っています。だから厳しいことも、遠慮なく言わせてもらいます。昔はバ



人気メニューの
肉チャーハンと四川丼。



ジェームズ・ディーンのパスターを貼った店内は開店当初のままの雰囲気。

イト生と店で忘年会やマージャンもしました。バイト生のお父さんに店の内装工事をやってもらったこともありますし、経済学部生の頃に働いていた方のお嬢さんが、食べに来てくれたこともありました。また、来店した学生に「誰かいい人いない?」と恋愛相談をされて、お客さんと来ていた学生を紹介したこともありましたね。その後二人は結婚することになり、結婚

式には店を閉めて私も出席しました。今はお子さんが3人いるお父さん、お母さんになっています。いい思い出です。

私も74歳になりました。店を続けられるのも、あと10年でしょうか。卒業生の皆さん、私が元気なうちに顔を見に来てください(笑)。

アンケートのご協力をお願い

広報紙Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。①面白かった記事 ②本紙に対する意見・感想 ③今後取り扱ってほしい内容 ④長崎大学からの情報発信全般についての意見・感想 ⑤本学とのご関係 ⑥年齢 ⑦氏名(ふりがな) ⑧郵便番号 ⑨住所 ⑩電話番号を明記してください。



◎ハガキ/〒851-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛

◎FAX/095-819-2156 ◎メール/kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

◎応募締切日/2023年10月末

読者プレゼント

波佐見焼 そばちょこ(2個セット)

アンケートにご協力いただいた皆様の中から抽選で5名様に「波佐見焼 そばちょこ(2個セット)」をプレゼントします。長崎の伝統工芸品である「長崎ハタ」の文様をあしらった、長崎県産波佐見焼のそばちょこ。小鉢として副菜やデザート盛り付けたり、スープをよそったり、様々な用途でご使用いただけます。長崎大学のロゴが入ったオリジナル商品(非売品)です。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



Choho

直接送付サービス開始!

広報紙Chohoはその多くを、各学部同窓会様の会報誌送付の際に、直近の号を同封してお送りさせていただいて

います。そのため、読者の皆様には、必ずしもChohoを毎号お届けできないケースがあり、「前号のChohoも読みたい」「定期送付を希望」といったお声をいただいております。そこで、ご指定の住所へChohoを直送させていただくサービスを行っています。

上記サイトへアクセスいただき、ご登録をお願いいたします。皆様のご利用をお待ちしております。



編集後記

食堂のアクリル板、机の上の着席禁止のマークなどが取り払われ、キャンパスに学生たちの笑顔が戻ってきました。大学らしい光景を見るにつけ、喜びがこみ上げてきます。

「感染症とは何か?ウイルスとは何か?」。この3年間誰もが向き合い続けました。こんな時代が来ることを誰が予想したでしょうか。

今回、取材を通して感染症研究は時代の流れに左右されやすいことを知りました。感染拡大が落ち着くと、研究環境が縮小し研究者も減ってしまうのです。しかし、長崎大学の研究者は感染症が猛威をふるう時代が訪れることを予見し、幾度となく訪れる不遇の時代を乗り越えて、世界にフィールドを広げながら、常に研究を発展させてきました。現場に根差し、研究を継続したこの信念こそが今につながっているのです。長崎大学が感染症研究において国内トップレベルの質を維持している背景や長崎大学の強みを、感じていただくと幸いです。

紙面の都合で、取材で得た情報のわずかしこご紹介できませんでした。多くの情報やエピソードをお教えいただいた先生方、ありがとうございました。

(広報戦略本部 山本)

長崎大学 感染症研究出島特区



DEJIMA ID Alliance

2022年4月に新設された感染症研究出島特区のホームページ。出島特区の概要やワクチン研究開発に係る最新情報をお届けします。

<https://dida.nagasaki-u.ac.jp/>

長崎大学SNSサイト



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube

